

1. 拠点到求める機能は、「新事業の創出」が大きい。
2. 形態は、研究機関や産学官連携・調整機能を中心とする声が多い。
3. 分野は、廃炉、ロボット、エネルギー、環境、地域振興等への関心が多い。
4. 浜通りの魅力は、地域に関する各種の状況が教育・研究の上での対象と成るところと、イノベーション・コースト構想のコンセプト。
5. 期待する成果は、事業化の推進、自社の研究開発力・人材の能力の向上。
6. 連携先の希望としては、国内企業(異業種)、国内の国立研究所・大学が多い。
7. 人材供給については、新事業の開拓を推進する人材の参画が最多。送る人数は若干名とするものが多いが、10名程度以上との回答もあり。派遣期間も、数年程度以内が多いが、5年、10年以上、との回答もあり。
8. 課題としては、具体的な取組内容の決定と、予算の工面。次いで人材の選定。期待する支援策は多様で幅広いが、必要な情報の提供と予算支援への期待が大。
9. 企業として貢献し得るのは、事業化ニーズやノウハウの提供、資金・人材の供給。投資の性格的には、人材開発や研修の一環、又は産学連携の研究開発として。

アンケートの実施概要

1. アンケート内容及び方法

エクセルシートを、以下の2. 実施対象の事務局を系由して電子媒体で企業へ送付し、企業からは電子メールでの回答を、復興庁へ提出いただいた。

2. 実施対象（順不同）

- (1) ふくしま応援企業ネットワーク
- (2) 福島イノベーション・コースト構想推進企業協議会
- (3) 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会
- (4) ふくしまロボット産業推進協議会 合計約 6 百社

3. 実施時期

令和元年9月上旬から約1か月間

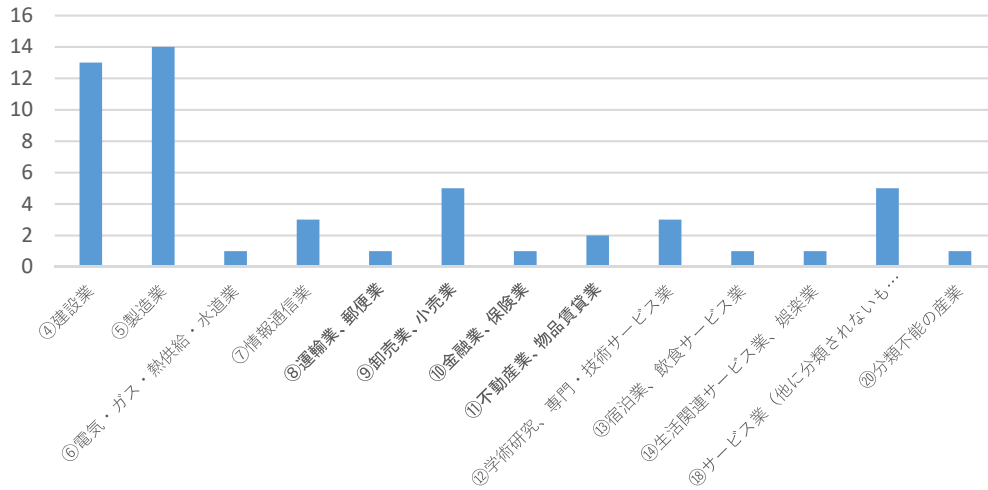
4. 回収状況等

- (1) 51社
- (2) 以下の個票では、各質問項目ごとに、回答企業が選択した選択肢の番号を数え上げたものをグラフ化。（回答に優先順位付けがある場合、それ毎の数上げを積上げ。）

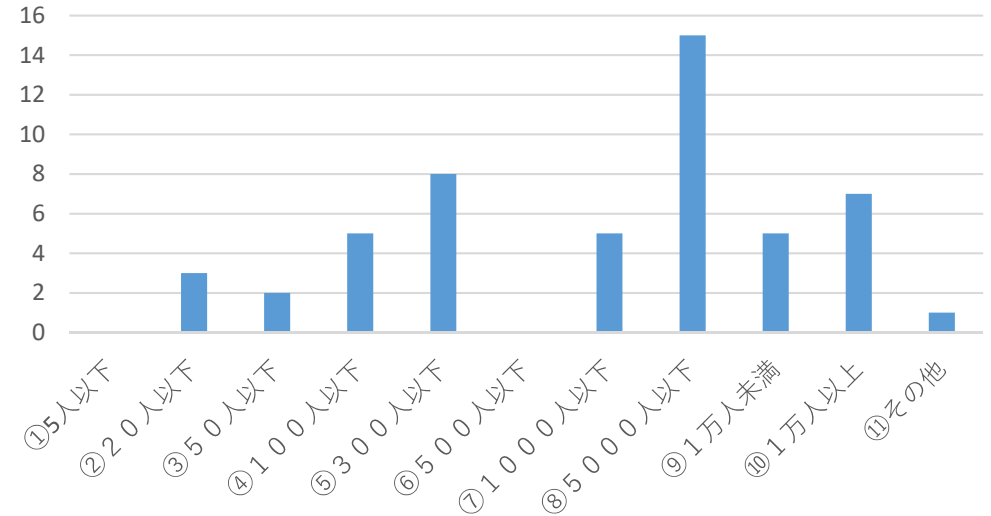
ご回答いただいた企業の属性について

- 業種は、製造業、建設業が多いが多様。
- 従業員数、資本金の状況を見ると、企業の規模は様々。
- 所在地は首都圏が主体。

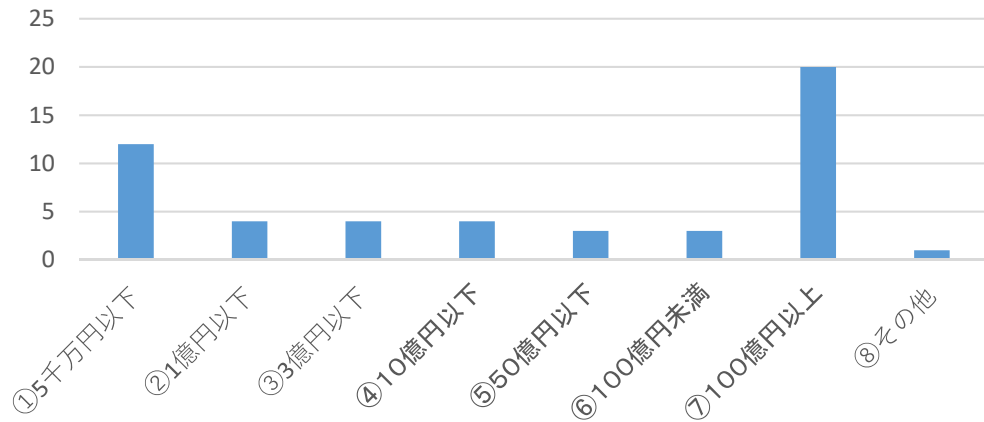
業種



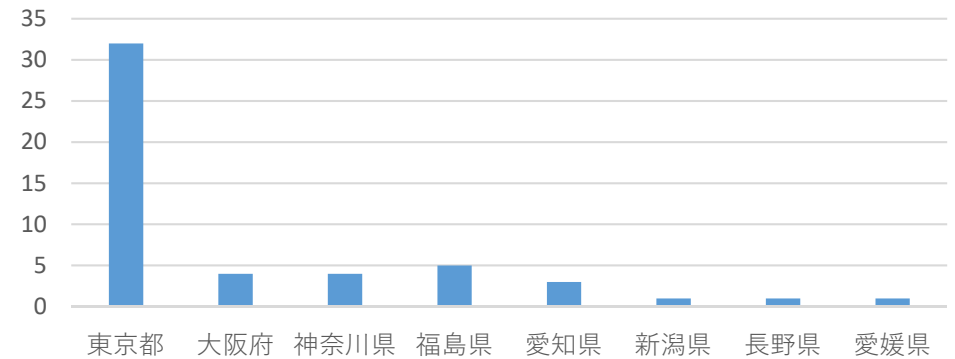
従業員数



資本金



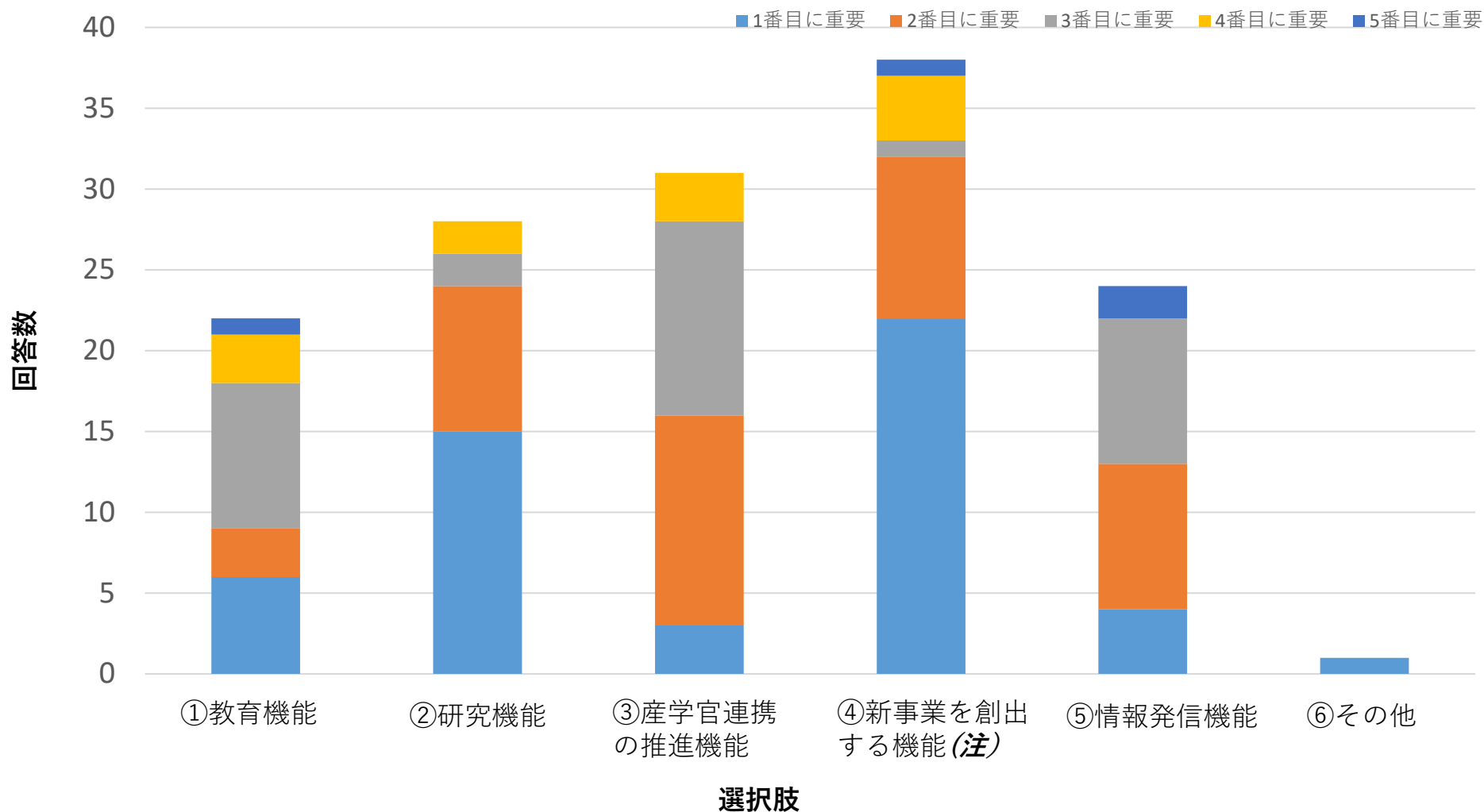
主たる事業所の所在地



Q1 どのような機能を拠点に求めますか？

(求める機能が複数ある場合には、重要と思う順に複数選択可。すべての番号を記載する必要はありません。)

- 拠点に求める機能は、**新事業を創出する機能**が最多。
- 重要と思う順で見ると、新事業の創出、研究といった機能に対する回答が高い。

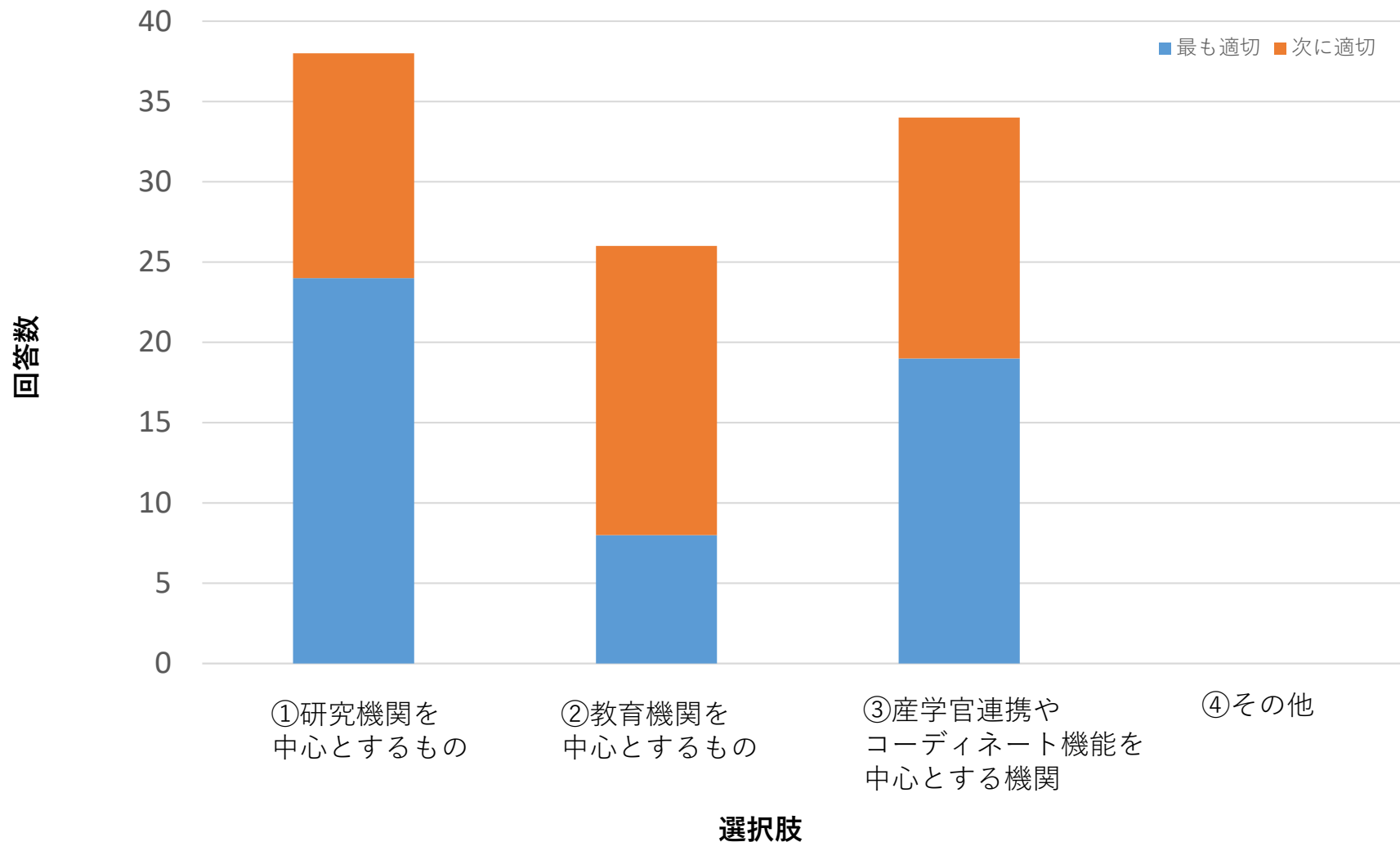


(注) 教育や研究に留まらず、その成果等の活用、あるいは既存のシーズを基に、既存の慣習や規制等に囚われず、具体的な事業化を産学官連携で推進する機能を意図。

Q2 どのような形態の拠点が適切と考えますか？

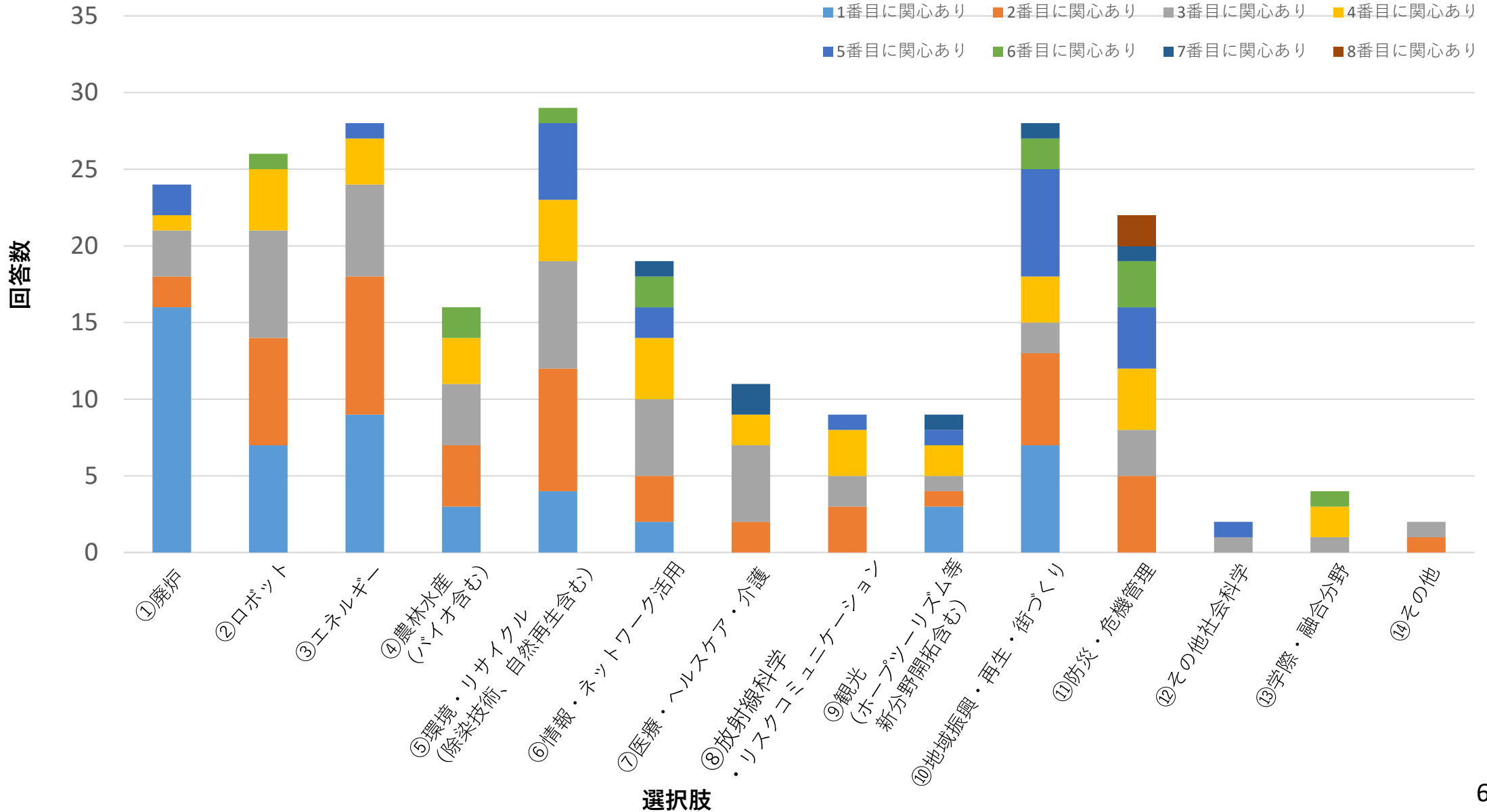
(適切と考える順に2つまで選択して記載ください。)

- 拠点の形態としては、**研究機関を中心とするものが最多**。**次いで、産学官連携やコーディネート機能を中心とする機関**。
- 最も適切、と考える選択肢の場合で見ると、その傾向がより増大。



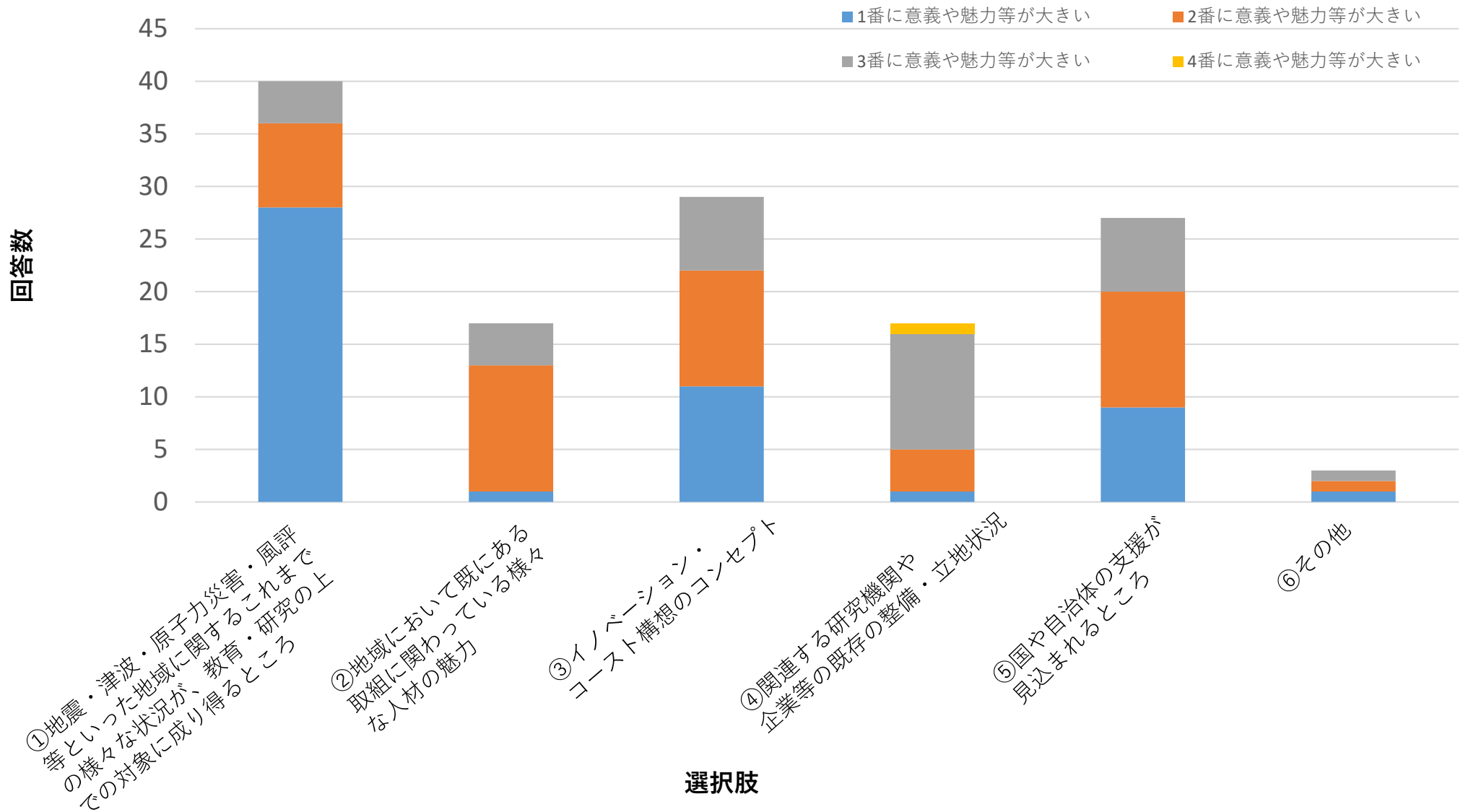
Q3 どのような分野に関心がございますか？（関心がある順に複数選択可）

- 関心分野としては、**イノベーション・コースト構想重点分野**の他、**地域振興等、防災等ある程度幅**がある。



Q4 浜通り地域に拠点があることの意義や魅力等をどのように感じられますか？ (意義や魅力等が大きいと感じられる順に3つまで選択)

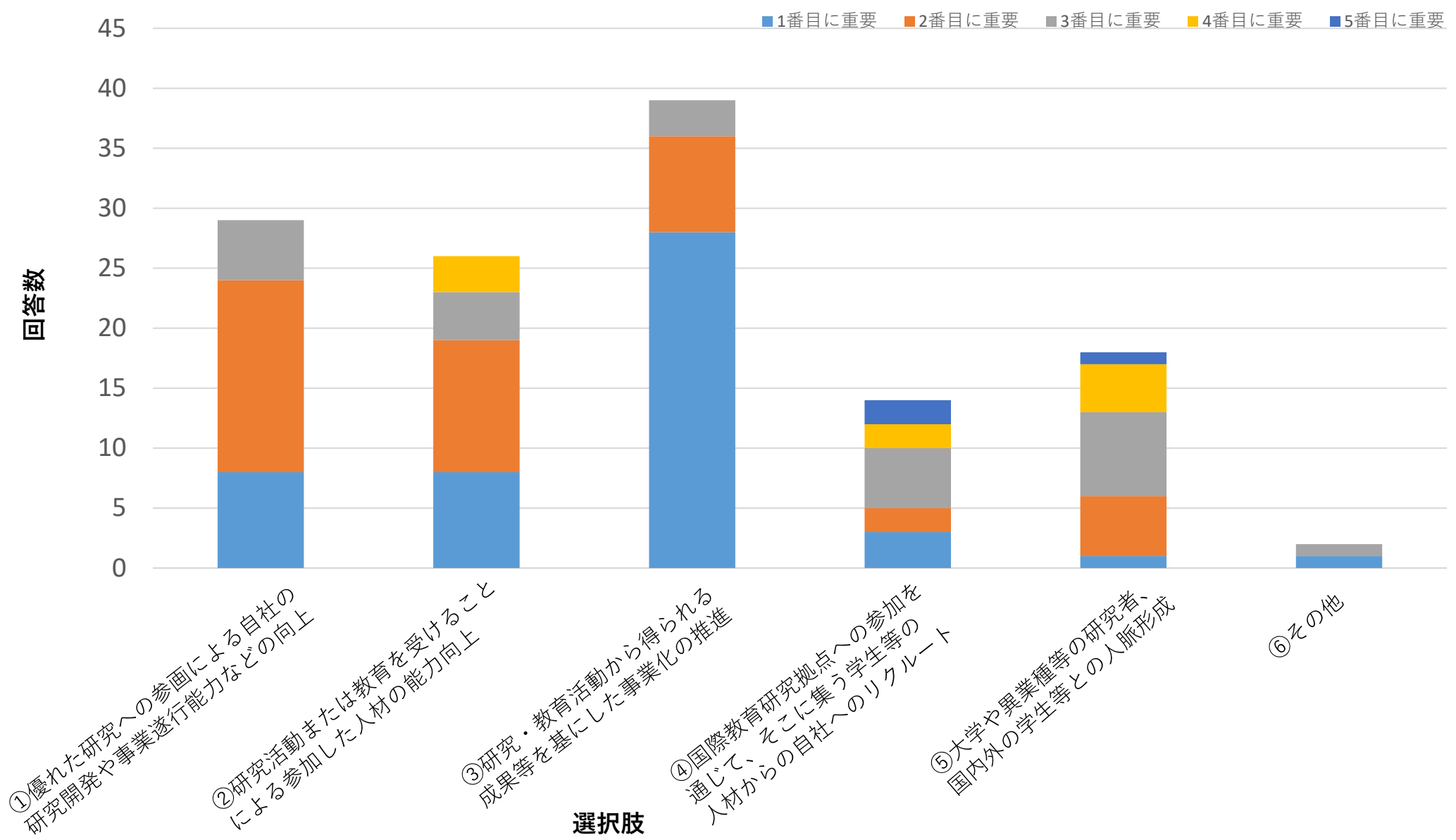
● 浜通りの魅力は、地域に関する各種の状況が教育・研究の上での対象と成るところと、イノベーション・コースト構想のコンセプト。また、国や自治体の支援が見込まれるところ。



Q5 国際教育研究拠点からの成果として何を期待されますか？

(重要と考える順に複数選択可)

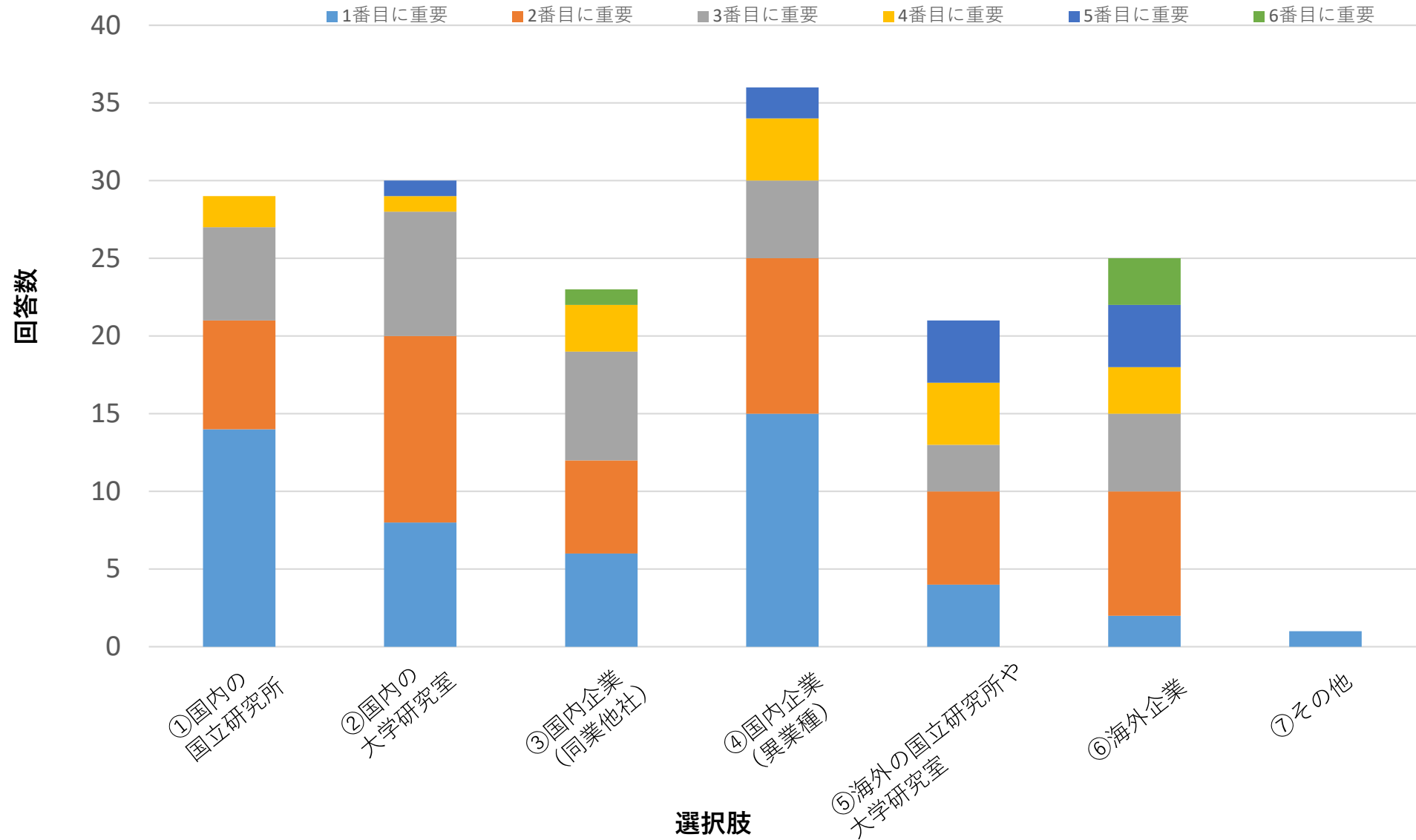
● 期待する成果としては、**事業化の推進**、自社の**研究開発力・人材の能力の向上**。



Q6 国際教育研究拠点で、連携したい相手先はどのようなものですか？

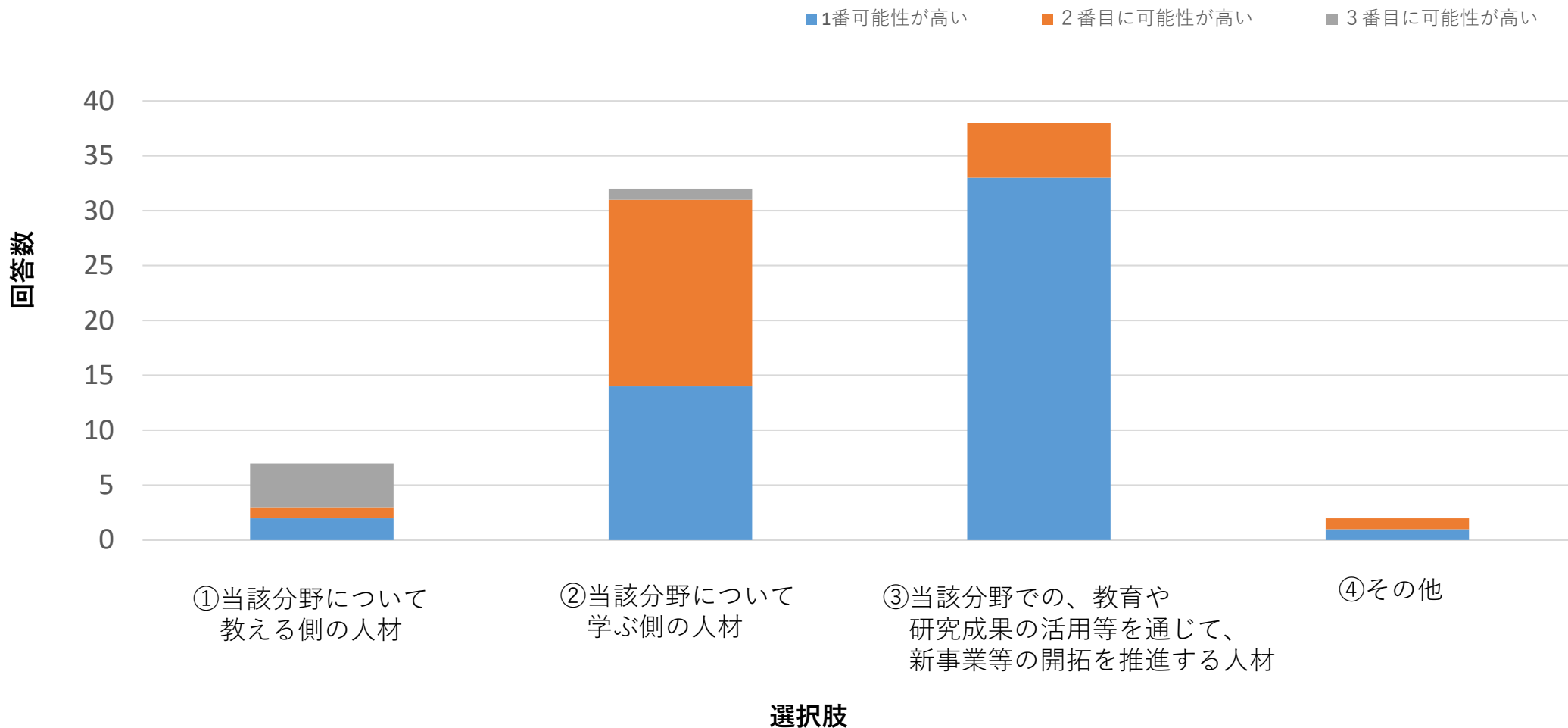
(重要と考える順に複数選択可)

- 連携先の希望としては、**国内企業(異業種)、国内の国立研究所・大学**が多い。



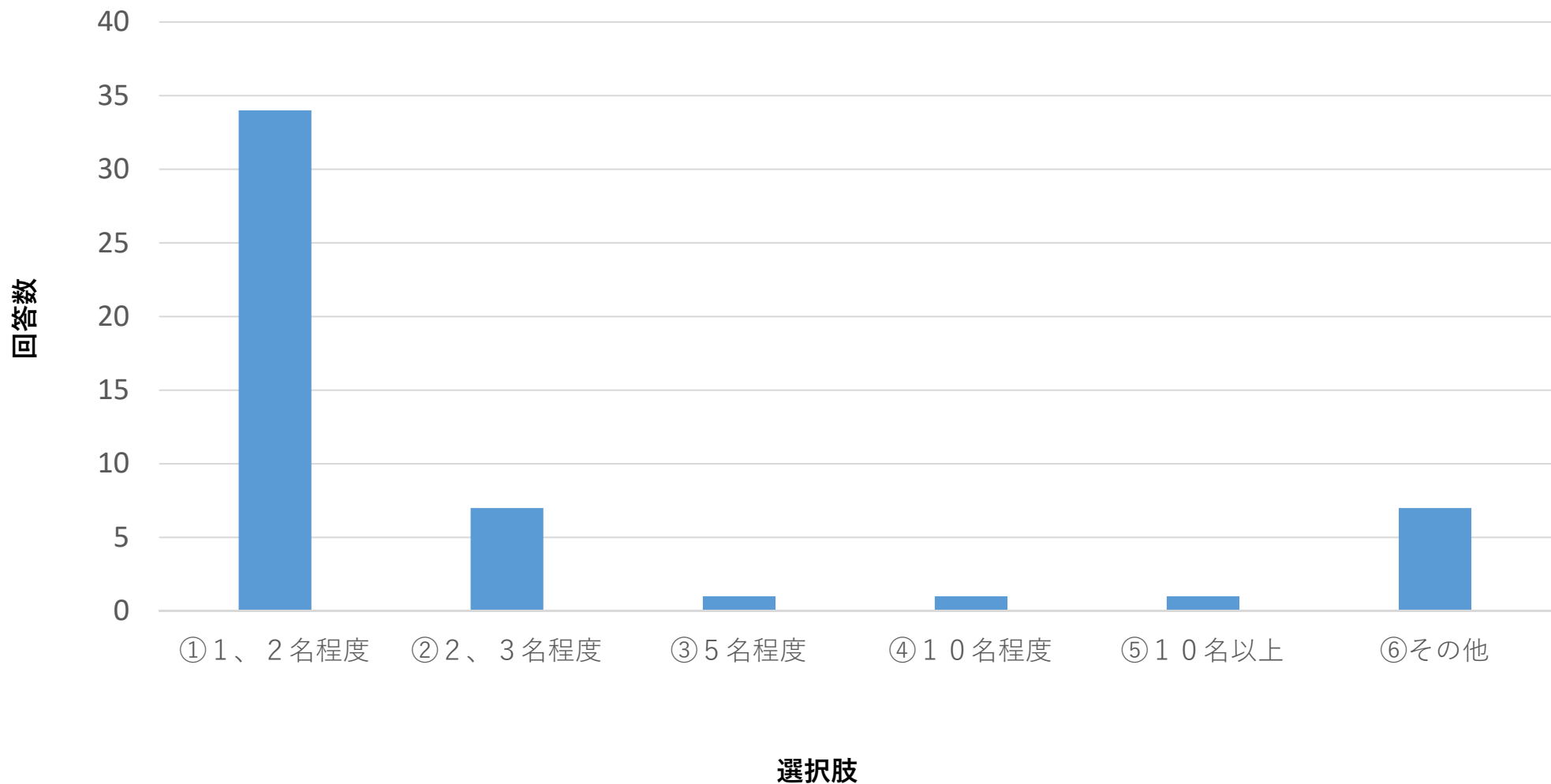
Q7 国際教育研究拠点の取組が貴社にとってメリット・関心があると判断されたと仮定して、その場合には、どのような人材を、国際教育研究拠点に参加させることが考えられますか？（可能性のある順に複数選択可）

● 人材供給については、**新事業の開拓を推進する人材の参画**が最多。次いで、参画を通じて学ぶ立場の人材。



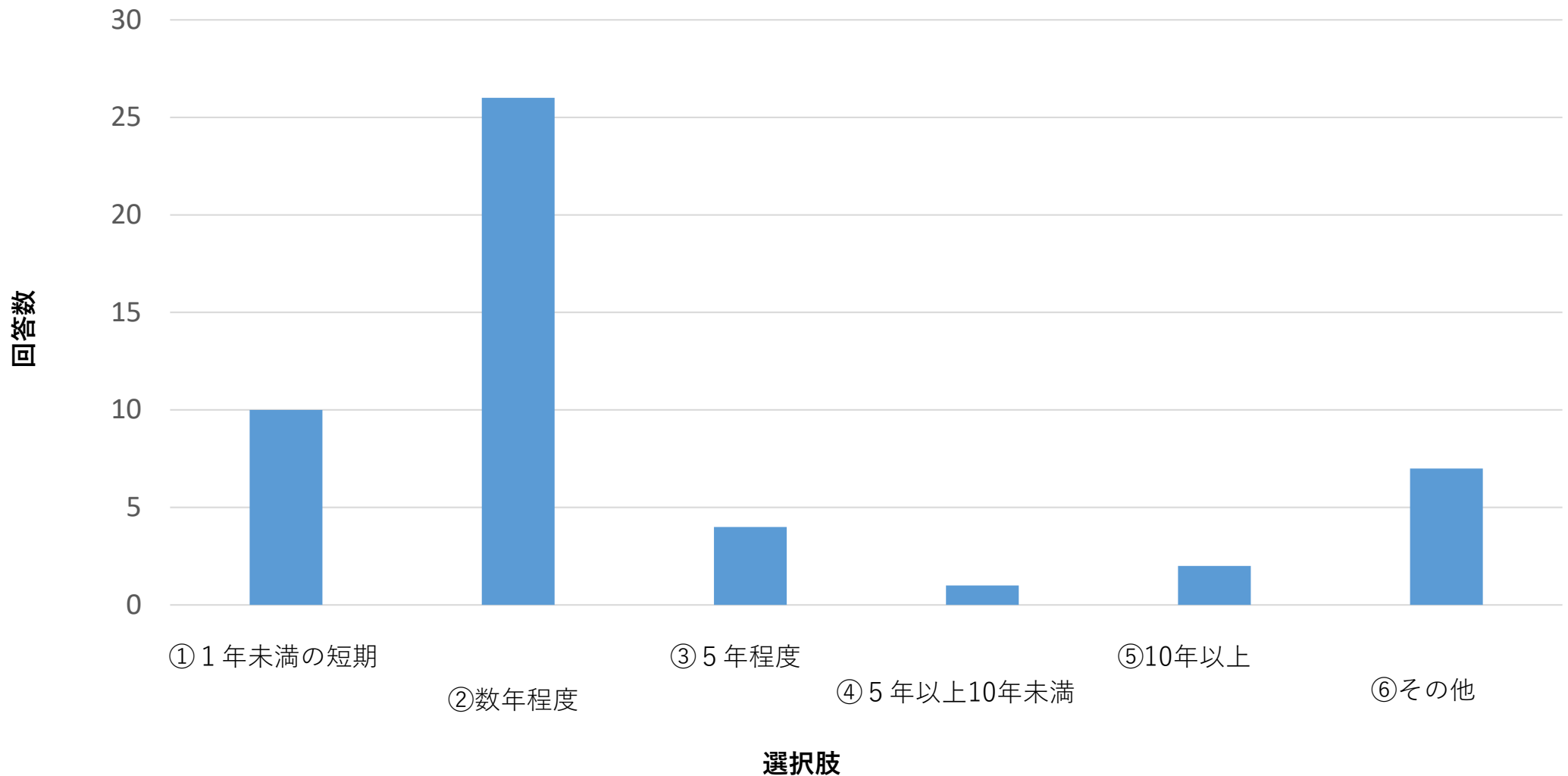
Q8 国際教育研究拠点の取組が貴社にとってメリット・関心があると判断されたと仮定して、その場合には、何名程度を、送ることが可能性として想定されますか？（1つ選択）

● 送る人数は、若干名とするものが多いが、10名程度以上との回答もあり。



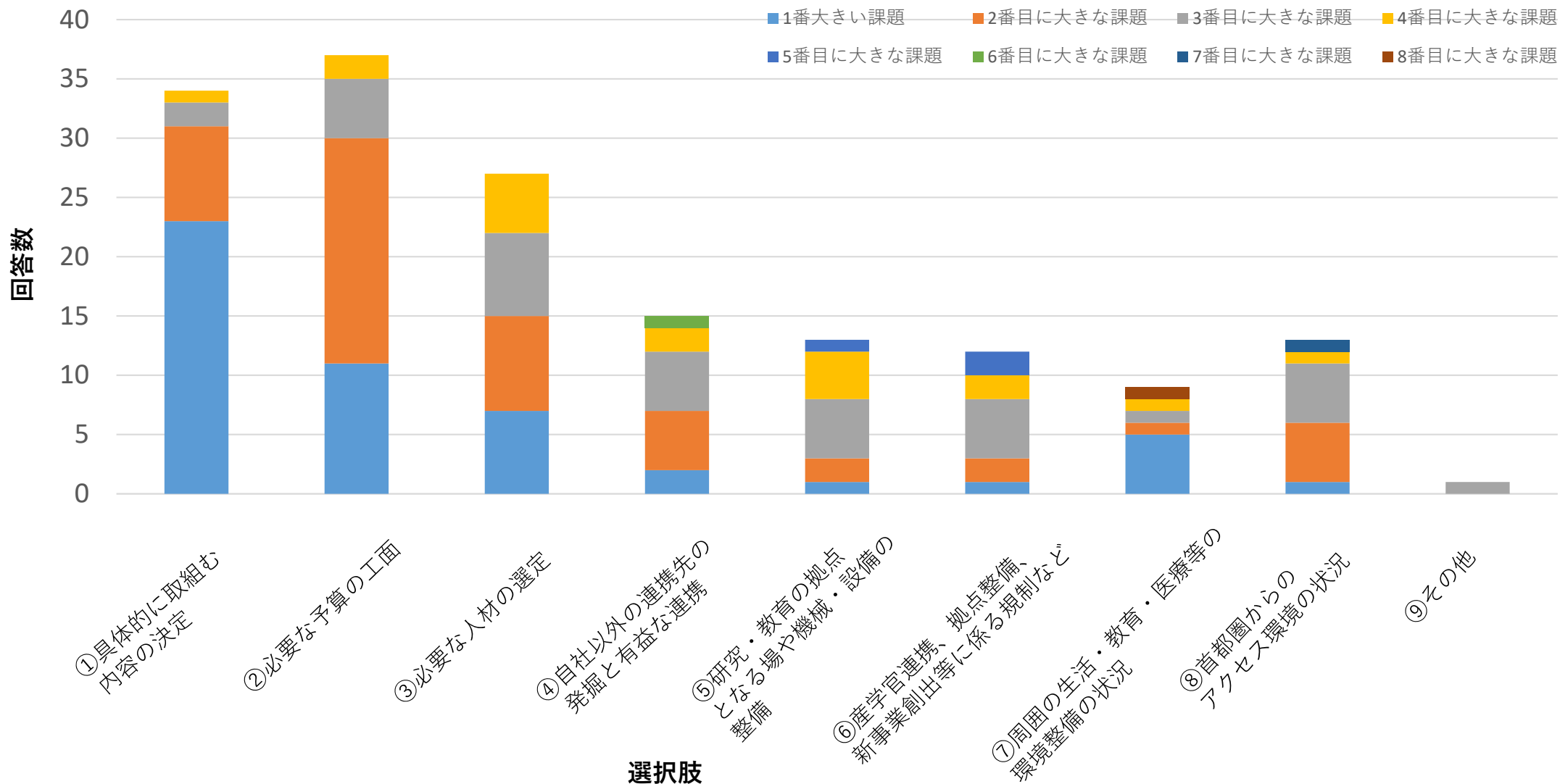
Q9 国際教育研究拠点の取組が貴社にとってメリット・関心があると判断されたと仮定して、その場合には、同拠点に参加する場合の期間としてどの程度を想定されますか。(1つ選択)

● 拠点への参画期間として、数年程度以内が多いが、5年、10年といった回答もあり。



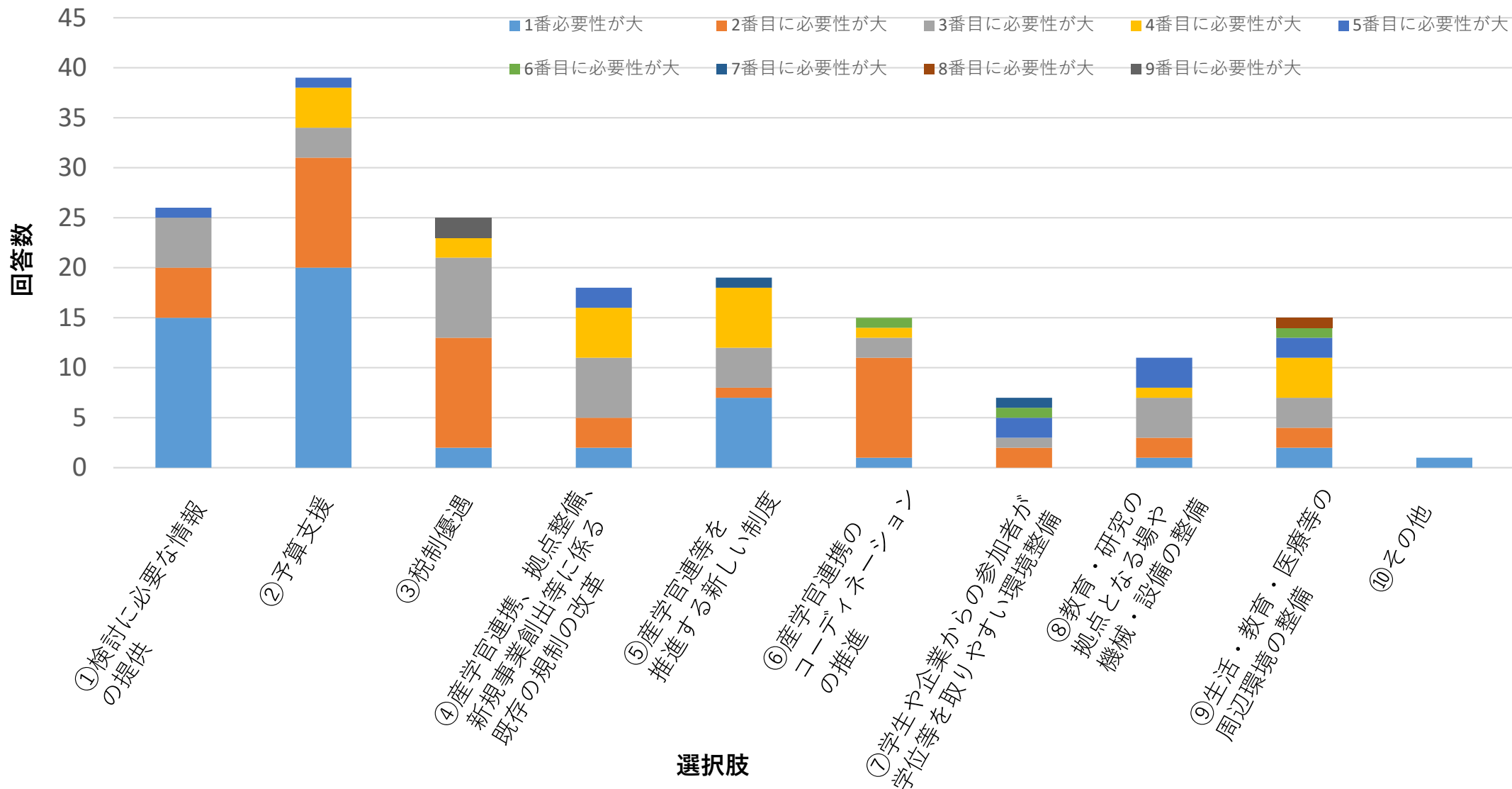
Q10 国際教育研究拠点への整備や参加などに向けた障害として想定されるものは何ですか？（課題として大きいと考える順に複数選択可）

● 課題としては、具体的な取組内容の決定と、そのための予算の工面。次いで人材の選定。



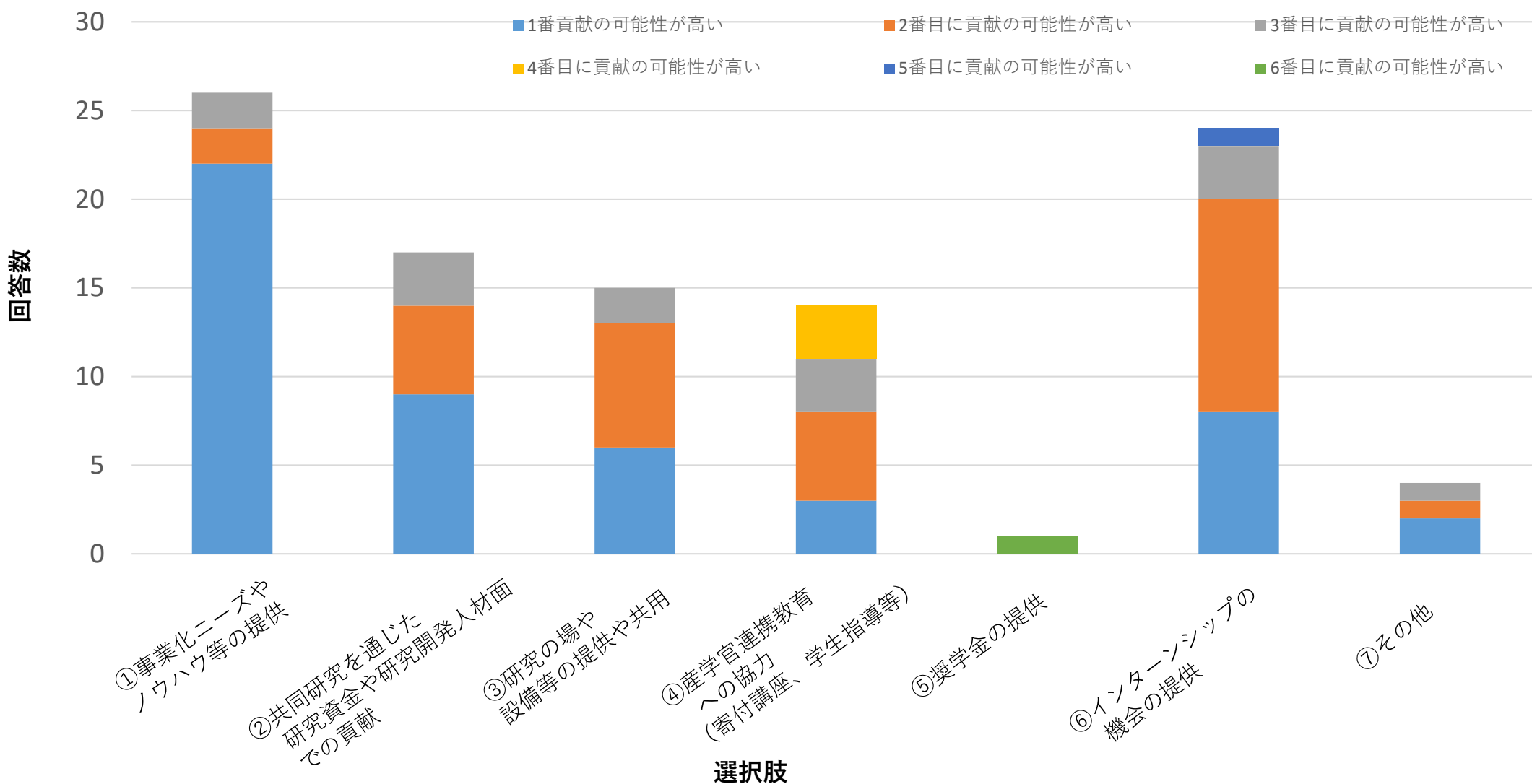
Q11 国際教育研究拠点の整備や参画に向け、あると良いと考えられる支援策などは何ですか。（必要性が大きいと考える順に複数選択可）

● 期待する支援策は、幅広く多様だが、**必要な情報の提供**と**予算支援**への声が多い。



Q12 国際教育研究拠点の取組が貴社にとってメリット・関心があると判断されたと仮定して、その場合には、貴社から国際教育研究拠点に関して貢献し得ると考えられることは何ですか。（貢献の可能性が高いと考えられる順に複数選択可）

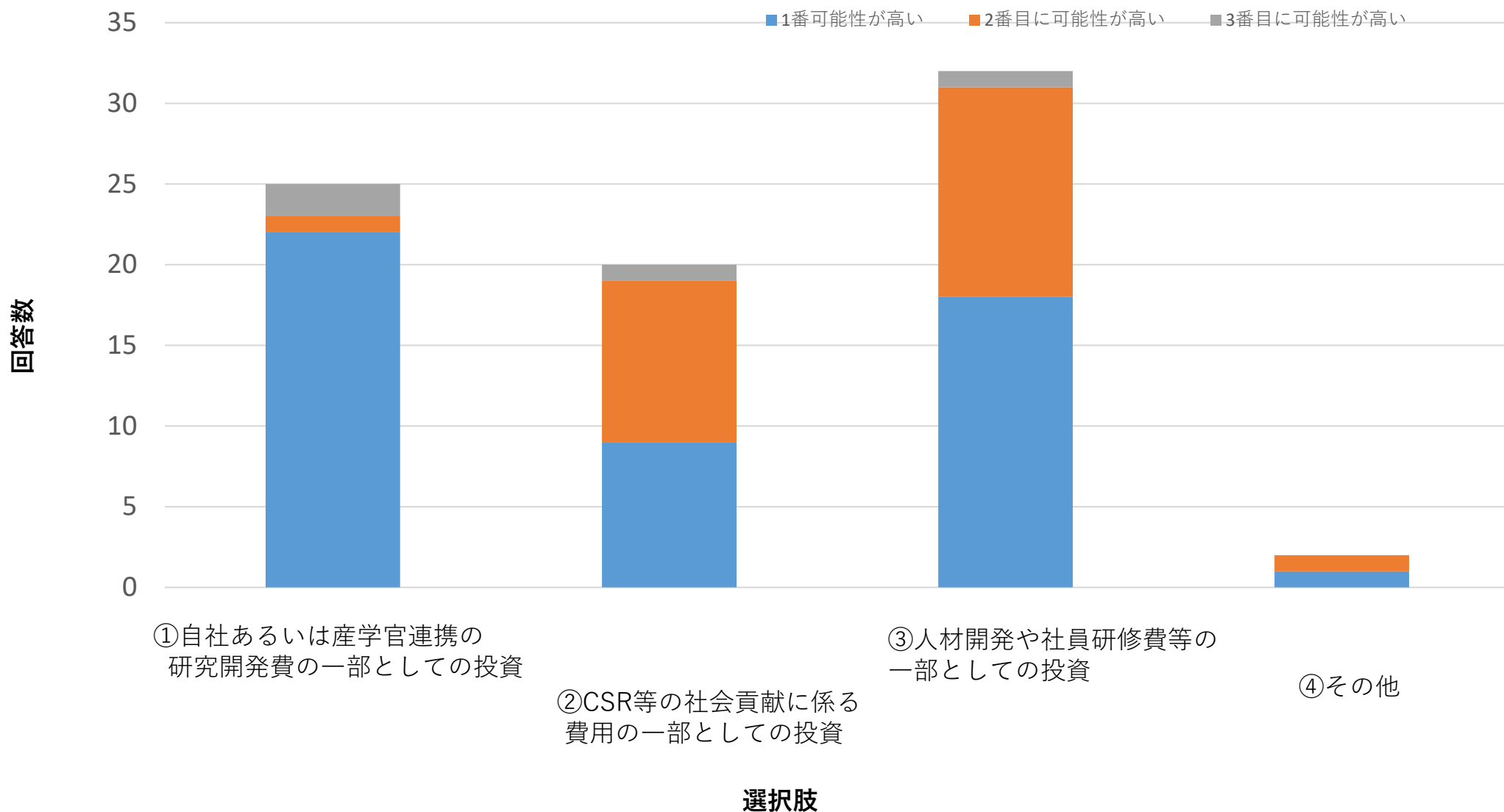
● 企業として貢献し得るのは、事業化ニーズやノウハウの提供、資金・人材・場・インターシップの機会の提供。



Q13 国際教育研究拠点の取組が貴社にとってメリット・関心があると判断されたと仮定して、その場合には、どのような投資が想定されますか。

(可能性が高いと考えられる順に複数選択可)

● 投資の性格的には、人材開発や研修の一環、又は産学連携の研究開発として。



Q14 上記設問にかかわらず、その他、国際教育研究拠点の整備に関して、あるいは、本アンケートに関する事など、ご自由にご意見等ございましたら、記載をお願いします。

- 過去類を見ない災害であると同時に、世界的にも研究への関心は高く、国際教育拠点が今後の交流人口拡大、地方創生に果たす役割は大。
- 福島イノベーション・コースト構想の推進に向け、関係団体と復興庁との定期的な情報交換の場があると良い。
- 廃炉研究をしっかりとってもらいたい。知恵を出し合いより早期に解決するのが、産業や未来を担う人材にとり、浜通り復興の最重要項目。そのための拠点とし、世界中の廃炉の中心となれば良い。中途半端に企業や大学を集めても成果も出ず、地域含めどこのメリットもない。拠点は、アクセスや生活環境の面で、企業が選択しやすいところへ。
- 机上でなく、実際に課題に取り組み、ビジネスを興すことが教育であり、そのような場になることを期待。
- 浜通りというロケーションは、イノベーションHUBになるのか、アクセスや企業誘致などに鑑み疑問。
- すでに国内にある国際教育研究拠点との差別化が見えるように図られると良い。
- 進捗や状況を引き続き、メルマガなどで発信して欲しい。
- 弊社もロボット関連事業に参入しようと活動を初めており、引き続き連携を促進して欲しい。
- ぜひとも、海外の優れた経験知を活かした実践的な教育・研究を行えるようにしてほしい。
- 風評被害もある中、復興へむけ、イノベーションコースト構想などのハード的な取組に加え、国際人材育成を指向することは大変大きな意義がある。
- 浜通り地区の風評被害には心を痛めており、食品に関する研究が進められることを希望。
- 分野は大まかに決まっているが、現時点では具体的な内容が見えず、定性的な回答しかできない。

Q1の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・事業化を、産学官連携で推進する機能。事業に結びつく機能。
- ・産学官連携の推進は、行政がリーダーシップをとって取りまとめ役となり、企業が責任をもって活動を推進する、という構図が望ましい。
- ・アカデミックな研究だけでなく、地方創生のため、産業界へ橋渡しする役目が重要。原発関係に限らず、領域をもっと広げても良い。
- ・新事業チャレンジの場に。特区のような形で、採算性より革新性を重要視する場に。単なる勉強より、実際に生々しくビジネス創出を行う場に。
- ・浜通りの魅力を先陣きって伝える機関が必要。
- ・廃炉における効率工法の研究。
- ・廃炉の研究、新事業創出及び情報発信は、浜通りでしか出来ない。民間では限度があり、国主導で一丸となって推進していく必要。
- ・国内外の需要が想定される廃炉の技術開発や人材育成について、海外ネットワークを含めた一気通貫した推進プログラムを。そこでの技術、人材、情報を応用した宇宙開発中核拠点の整備を。
- ・教育機関は、他地域に無い、先進ジャンルを実践カリキュラムで学べ、世界にチャレンジでき、学費負担を低く。浜通りの小・中・高とも連携。
- ・農林水産業の振興を目指す中、畜産業の人材確保が課題。ITを活用した研究により、畜産技術をデータ化して、人材育成・確保に繋げる。
- ・企業としてのメリットは、大学や他企業と連携できること、成果の出やすい環境で有るか否か。
- ・風評払拭や浜通り地域への人流拡大のため、従来の枠を超えた新事業創出への挑戦と、他に類のない経験・教訓・対応の内外発信を。
- ・教育機能を当初から持たせることは困難では。新事業の創出には、周辺環境の状況等、必要なものが全て揃っているかとの観点から、除外。

Q2の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・産官学連携で産み出される成果を実証する場としての活用を期待。アイデア創出の場。
- ・研究機関のような拠点にすれば、民間企業等からの協力も得やすい。
- ・原子力事業の安全を目的とした新規工法、運用の確立(廃炉含む)、ロボット技術の研究。
- ・畜産業のデータ活用、集中管理システムのためのITシステム開発と教育。
- ・浜通りの雇用・人口拡大に寄与するものとして、県・国レベルでなく、世界的に出資を仰いで整備すべき。官より民が担うべき。
- ・目に見えるアウトプットを出すことが重要。研究成果から製品化、という持続的な取組を。
- ・廃炉に向けたデブリ取出しの研究、技術開発を早期に遂行し、そのPDCAの結果を新規産業に生かし、世界に向け情報発信を。

Q3の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・農林水産業のために、ロボットやエネルギーなど他の産業を発展させるイメージ。
- ・自社の業務内容から、防災・危機管理、エネルギー事業に関心を持って情報収集している。
- ・廃炉に必要なロボット技術（人に代わり工事が出来る仕組み）。
- ・地域創生、過疎化対策、人口減少対策など。
- ・畜産業に係る技術開発やリサイクル技術が必要。
- ・クリーンエネルギー（水素関連）を活用した移動、まちづくりに興味。洋上風力発電やバイオマス発電に関心。
- ・魅力ある福島を発信するお手伝いをしたい。地元の方の喜びとなることを目指したい。
- ・まちづくり分野では、地域社会の様々な関係者との連携が不可欠。コーディネート人材がいれば、発展できる。その役割の事業化を目指す。
- ・浜通り地域への将来的な人流拡大に向け、防災、危機管理、食など、この地域でこそ発信可能な研修・観光素材の構築に意義あり。
- ・当社の仕事上で協力できそうな分野を選んだ。
- ・原発事故の影響を打破する地域振興・再生・街づくりに対し、一企業として出来るだけ支援していきたい。
- ・重要度は、結局はその企業の事業形態によるのではないか。

Q4の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・『再生』、『生まれ変わる』という意味での場所。
- ・国内外の注目が集まるのは災害に関することであり、そこにフォーカスするのがアピールポイントとなろう。
- ・被災地の経験に基づいたノウハウの蓄積が可能だと考える。
- ・研究拠点として継続的に存在し、他分野での研究の中心となること。
- ・風評払拭は、生産物の六次産業化で、素材を活かした健康・機能性食品化・嗜好対応を目指し、直接顧客に在りのままを伝え、地道に活動。
- ・震災に加え様々な社会課題に直面している地域として、地域の協力を得ながら、どう自治機能(生活・産業)を維持継続していくかが重要。
- ・イノベーション・コースト構想関係の事業では、地元企業等にもメリットがある仕組の検討を。
- ・国際教育研究拠点を作ることが、地域にとり良いことか疑問。浜通りに人が帰りにくいことを前提にしているようで、腑に落ちない。
- ・この地域にしかない発信価値に意義を見出したい。

Q5の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・他では得られぬ研究成果を事業等に展開できる可能性がある。
- ・国際教育研究拠点と連携して、地元中心の研究開発の加速化を図れることを期待。
- ・目的無きイノベーション、新規事業創出に悩む大企業を、一気に目覚めさせるコンテンツが揃っているところが魅力。
- ・浜通り地域から、優秀な若手人材を輩出し、巨大化する災害等への備えについて国内外へ発信していくこと。
- ・具体的なイメージはないが、時代の流れに取り残されぬよう情報収集に努めたい。

Q6の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・民間と連携し営利も求めないと継続性が無いのでは。
- ・新規工法の確立を目的とした連携。
- ・日本の若年層育成をできる限り応援したい。
- ・どういった技術が生まれるか想定付かないが、その技術をもって海外展開することは今のところ自社では考えられない。

Q7の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・当社はパートナー企業と、廃炉に係る装置の開発等、ロボット分野に従事。各種イベント参加等を通じ人材育成等にも取組み。
- ・代えがたいスキル・知識を持つ人材が増えるはず。
- ・次世代の畜産業に向け、新規参加企業、新技術を日本国内にシステム販売する企業、海外展開できる企業等との連携を期待。
- ・企業はビジネスチャンスを得る研究に期待があり、教える側の提供にはメリットが少ない。
- ・新事業分野の開拓は、今後の最重要課題。当該分野の人材の参加は可能性がある。
- ・ビジネスにしないといけない。地元の方も巻き込み、ビジネスを興し、サステナブルに貢献できるようになりたい。
- ・ホスピタリティ等の当社ノウハウを生かした、新観光・研修ツーリズムの企画。
- ・今後のことを考えると、興味があるとすれば新規事業になる。

Q8の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・従業員数が10名程度であり、人材を送ることは困難。
- ・事業サービス会社であり、浜通り地域の国際教育研究拠点に人を送ることは想定していない。
- ・畜産業に係る新技術・製品の開発担当者等を検討中。
- ・常駐は少数と思われるが、ビジネスが興るなら多くが交流人口となれる。
- ・派遣人員数は取組への関わり方に専ら依存し、現時点での想定は困難。
- ・研究内容次第。
- ・ミッションを明確化しつつ検討する。
- ・人員派遣については、具体的な研究方針が示されぬ現状では未定。
- ・経営資源が逼迫している昨今の状況から、興味があるとしても出せるのは最低限の人数。

Q9の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・従業員数が10名程度であるため、人材を送ることは困難。
- ・成果等によっても左右されるため、現時点では明確な回答は出来ない。
- ・我々の研究開発は、完成までに2年から5年を要するので、中長期的な考えでいる。
- ・5年程度で延長するかを判断する形を想定。
- ・研究内容次第。
- ・ミッションを明確化しつつ検討する。
- ・具体的な研究方針が示されないと現状では未定
- ・会社として出向という形をとるのであれば10年、20年のスパンは可能。ただし個人の場合は3年が限度。

Q10の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・取組内容も多岐にわたり選定が大変だろうし、首都圏からのアクセスはやはり悪い。
- ・研究に必要な資金は民間から調達であり、苦慮している。
- ・アクセスが悪い。ただ、それを超えるような魅力ある場所となることを願う。
- ・未来をどう語るかの構想が重要。予算ありきでは良い成果は出ない。企業に対する優遇より、むしろ、いくばくかの利益を企業に還元できる仕組みも面白い。
- ・先行企業等が既得権を主張し、国際教育研究拠点の活動に影響を及ぼす可能性があるのでは。規制関係について、教育研究拠点の活動に規制がかかり、結局は机上の検討しかできない恐れ。
- ・国としての具体的な方向の設定と合意形成が重要。
- ・まずは、安心して住める場所であり、交通の便が良くないと人は集まらない。

Q11の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・研究の場として、弊社工場の貸し出し等は検討可能。
- ・木材の活用時に発生する焼却灰の資源化で発生するリサイクル品の有効活用の為の規制緩和。
- ・場所とか施設よりも、促進するプログラムと、実証実験の場が必要。
- ・廃炉人材の育成については、廃炉事業の先進国であるドイツ、米国、英国、スペイン、ロシア等からの廃炉事業の経験知が活用できるスキームの検討が必要ではないか。
- ・安心して住める場所であり、交通の便が良くないと人は集まらない。

Q12の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・工場設備の貸し出し、弊社技術職でのインターンシップの検討が可能。
- ・オープンイノベーション関係のノウハウは活用いただけると感じる。なかなか場所だけ立派で活用されていないラボを多く見てきており、この場での経験で貢献できれば。
- ・原子力関連サービス的一方、商業ビル、ホテル棟の設備管理・運営等も行っており、研究機関が完成後の維持管理・セキュリティサービス関係で協力できる。
- ・直接の参加ではなく、事務補助などのバックオフィスの参加を希望。
- ・研究の内容にもよるが、当社の設備が使えるのであれば提供することは可能。

Q13の自由記載欄に見られた内容の概要

- ・投資規模としては、1～数百万を想定。
- ・研究開発を民間資金での調達を考えており、企業連携に興味あり。
- ・具体的な金額イメージについては、投資対象の規模によるが、数百万円から数千万円程。
- ・技術というよりも、新規ビジネスの開発を目指した何らかの投資ができればと思う。
- ・研究開発の内容に大きく左右される。